


## B-4 火おこし体験

概要	昔からの手法での火おこし体験を通して、先人の生活の知恵と苦勞を体験し、火の大切さを学ぶ活動				
ねらい	自然に親しむ	仲間づくり・協調性	課題克服・達成感	 HP 詳細へ	
	○		◎		
	歴史文化に親しむ	知識	創意・工夫		
		○			
条件	場所	あじさい広場、野外炊飯場 他		対象	小学生以上
	時間	1～2時間程度		人数	60名程度まで可能 1グループ6～10名程度
	時期	通年		天候	全天候実施可
準備物	センターが貸し出すもの			団体が準備するもの	
	<input type="checkbox"/> 火おこし器（舞切り式、ファイヤースターター） <input type="checkbox"/> 発火用空き缶 <input type="checkbox"/> 切り出しナイフ			<input type="checkbox"/> 水筒 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 麻ひも <input type="checkbox"/> ヒキリ板 <input type="checkbox"/> 新聞紙	
展開	<p><b>1 事前（当日までの準備）</b></p> <p>（1）実施方法、準備物を把握する。（職員との打合せ、相談、随時受付あり）</p> <p>（2）活動グループの組分けを行う。</p> <p><b>2 活動（当日の流れ）</b></p> <p>（1）火おこし方法の説明、安全面の諸注意 → センター職員が行います。直前に内容の最終確認をお願いします。</p> <p>（2）「火おこし体験」の実施</p> <p>①火おこし器を上手く回転させて、火種をつくる。</p> <p>②火種をほぐした麻ひもに移し、発火缶の中に入れて振り回し、発火させる。</p> <p>③その火を新聞紙等に移して、大きくする。</p> <p>※この後、「野外炊飯活動」に移行すると、熾した火を活用でき、達成感がより高まります。</p> <p>（3）振り返りをする。</p> <p><b>3 事後（片付け）</b></p> <p>（1）火の後始末</p> <p>（2）用具の回収、返却</p> <p>（3）終了の報告</p>				
実施の留意点	<p>○ 火を扱ったり、発火の際は缶を振り回したりします。安全の確保と事前指導をお願いします。</p> <p>○ キャンプ道具の「ファイヤースターター」を使った火おこし体験もできます。ご相談ください。</p>				

B-4 火おこし体験資料

## ヒキリ板の作り方

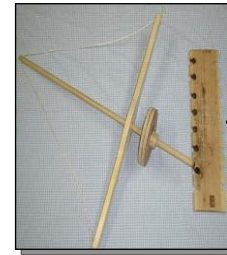
(火起こし器の土台となる板のこと)

① 大きさの違う板を2枚用意する。下の図は目安となる大きさです。

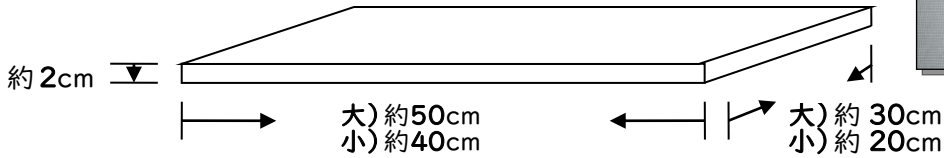
例:大)縦:約30cm×横:約50cm×厚さ:約2cm

小)縦:約20cm×横:約40cm×厚さ:約2cmの板を用意する

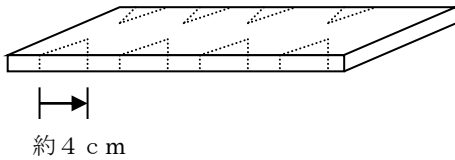
※ヒキリ板(スギ・マツ・ヒノキなどの古材を使用する)



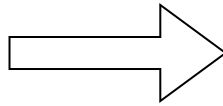
この部分を作ります。



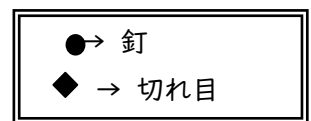
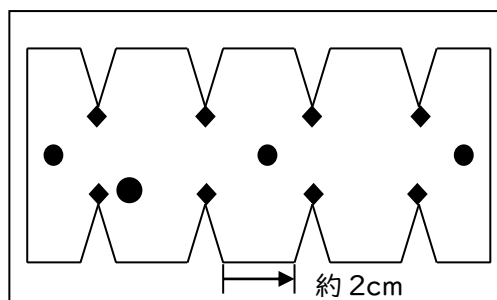
② 小さい方の板を下の図のようにのこぎりで三角に切り取る。



③ 切り取った三角形の頂点の部分に彫刻刀などで切れ目を入れる。



④ 加工していない板に釘で打ち付ける。



←※上から見た図

**完成!!**



発火用空き缶



実際の活動の様子